

令和元年度 学生による「授業改善のためのアンケート」について〈大学院版〉

※【昨年度との変更点】

- ・履修者1名の科目については選定科目から除外し、2名以上を対象科目とする。ただし、回答が1名であっても集計する
- ・実施結果報告書および分析結果を大学 Web サイトの情報公表ページに公開する。

(平成31年3月教学マネジメント委員会決定)

【実施の趣旨】

大学院では、学生が学部時代に培った教養と専門知識を踏まえ、それぞれの専攻分野におけるより高度で専門的な知識を教授しうる授業を展開することが求められる。

本学ではこれまで、大学院については授業改善のためのアンケートを実施してこなかったが、複雑化が進む社会に対応できる高度な人材育成に向けて、授業の改善・充実を図るために、学部同様、授業改善のためのアンケートを実施することとする。

アンケートの結果は集計の上、教員にフィードバックを行い、今後の授業改善を促すとともに、学生の授業選択の参考としても活用されることを期待する。

【実施要領】

1. 実施方法

- ・非常勤講師を含む大学院授業科目担当の全教員について、年間で1科目を対象としアンケートを実施する。
- ・各期の実施期間はそれぞれ2週間とする。

2. 実施科目の選定

- ・実施対象科目は講義科目のみとする。
- ・博士後期課程については対象外とする。
- ・リレー講義やオムニバス講義等、複数教員による授業実施科目は実施対象外とする。
- ・集中講義及び四半期開講科目は実施対象外とする。
- ・履修者1名の科目については選定科目から除外し、2名以上を対象科目とする。
ただし、回答が1名であっても集計する
- ・毎回の実施科目は、原則として教学マネジメント委員会 FD 部会が選定する。

3. 実施免除

- ・アンケート実施期間中に実施対象科目の担当がない場合は実施を免除する。
- ・アンケート実施期間中、対象科目を休講する場合は実施を免除する。
- ・アンケートを実施期間に対象学生が欠席等し、実施できなかった場合は、選定科目から除外する(※)。

4. 集計結果報告

- ・集計結果を担当教員にフィードバックし、所見書の提出を求めるとともに、学内専用の Web サイトで集計結果と提出された所見書を公表する。

5. 情報公表

- ・実施結果報告書および分析結果を大学 Web サイトの情報公表ページに公開する。

令和元年度前期授業改善アンケート実施結果（大学院）

1. 授業改善アンケートの概要

大阪産業大学で開講する授業を改善し、大学全体の教育の質を向上させることを目的として、平成 12 年度から学生に対する「授業改善のためのアンケート」を実施し、実施結果を担当教員にフィードバックするとともに大学の Web サイトに公表してきた。

平成 29 年 4 月より FD 活動に関する計画・立案は、教育支援委員会から教学マネジメント委員会の FD 部会へ移管され、所管部署が教育研究推進センターの教学推進課となった。本年度も引き続き、平成 29 年度から授業改善アンケートの計画や実施要領については FD 部会で立案し、教学マネジメント委員会にて承認を受けて、授業改善アンケートを実施した。令和元年度では、昨年と同様の実施方法で、さらなる教育の質の向上に向けて実施することになった。

- 1) 大学だけでなく、大学院でもアンケートを実施する
- 2) 教学マネジメント委員会 FD 部会で実施対象科目を選定する
- 3) 顕彰制度(大学のみ)を導入する

なお、実施対象科目は、さらなる改善が必要であるという観点から講義科目と言語科目が選定された。また、昨年度との変更点は、下記の通りとなった。

- ・履修者 1 名の科目については選定科目から除外し、2 名以上を対象科目とする。ただし、回答が 1 名であっても集計する
- ・実施結果報告書および分析結果を大学 Web サイトの情報公表ページに公開する。

(平成 31 年 3 月教学マネジメント委員会決定)

2. 実施期間

前期：令和元年 6 月 18 日(火)～7 月 1 日(月)

実施期間については上述の 2 週間としたが、実施期間中に実施できなかった場合には期間外であってもアンケートを実施していただいた。

3. 実施方法

択一式で 13 の質問項目及び自由記述とした。このような実施方法で、全研究科の大学院生を対象として実施した。

4. 実施科目数、実施率（7 月 30 日現在）

1) 大学院：専任・特任および非常勤の実施科目数、対象科目数の内訳

	専任・特任	非常勤	計
科目数	24/24	6/8	30/32
実施率	100%	75%	93.8%

2) 大学院：履修者数に対する回答率

	実施科目の履修者数 (A)	回答者数 (B)	回答率 (B/A)%
科目	143	132	92.3%

3) 自由記述について

平成 30 年度からアンケート用紙に自由記述欄を設けた。令和元年度は、科目別に画像データとして取り込んだものをポータルシステムのライブラリにアップし、各研究科長・専攻主任に公開し、各専攻の FD 活動の一環として役立てることにしている。

5. 集計結果報告と公表

集計結果については、すべての担当教員にフィードバックした上で、所見書の提出を求め、さらに、大阪産業大学の Web サイトに集計結果と提出された所見書を公表することとしている。

6. 授業改善アンケートの結果

1) 実施科目数と実施率について

平成 29 年度前期より、これまで大学で実施してきた授業改善アンケートを大学院においても実施した。大学院での実施科目数は 30 科目であり、実施率は 93.8% と高い実施率となった。また、回答率は全体で 86.3% であり、高い回答率となった。

2) 回答者数について

本年度より履修者 1 名の科目については選定科目から除外し、2 名以上を対象科目としたことにより、実施した 30 科目の内、回答者数が 1 名であった科目は、1 科目のみであった。実施科目数は昨年度より約 20 科目減少したが、履修者 2 名以上を対象科目にした結果、回答者に対するプライバシーは保護された結果となった。

3) 個別の質問について（大学院）

大学院においては 13 の質問項目とし、いずれの質問項目も「そう思う」、「ややそう思う」、「どちらともいえない」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の 5 段階の中から一つを選ぶ択一式とした。

回答結果について、13 の質問項目毎に、教員雇用形態別、専任教員職責別、専任教員所属学科別、学生所属専攻別、学年別に整理した。5 段階の回答について、「そう思う」を 5 点、「そう思わない」を 1 点とし、5 点から 1 点の点数を配分して平均点を算出した。なお、詳細については別添の資料に示す。

教員雇用形態別では、専任・特任と非常勤との間では Q12 の教室の設備や器具などは十分かを問う質問以外で、非常勤講師が専任特任教員より高い平均点となった。専任教員職責別では、教授、准教授とも顕著な差異は見られなかった。学年別では Q1~Q4 および Q6,8,10 では、1 年生が高い平均点となり、Q5,7,9Q11~13 では、2 年生が高い平均点となった。次にそれぞれの質問項目における専任教員所属学科別及び学生所属学科別の結果の概要を示す。

Q1「この授業によく出席していますか？」

アンケート回答率が全体で 86.3% と高かったが、専任教員所属学科別では、4.75~5.00 点の平均点であり、いずれの学科も 5.00 点に近い平均点であった。一方、学生所属専攻別では、4.00~5.00 点の平均点であり、**経営・流通学専攻、アジア地域経済専攻、電子情報通信工学専攻**が 5.00 点と高い平均点であったのに対し、**情報システム工学専攻**が 4.00 点の平均点であった。

Q2「この授業の予習復習や関連する内容についての自己学習を行っていますか？」

この質問項目に対しての回答は、(5)2 時間以上、(4)1~2 時間未満、(3)30 分~1 時間未満、(2)30 分未満、(1)取り組んでいないとした。専任教員所属学科別では、2.50~5.00 点の平均点であり、**経済学科**が 5.00 点と高い平均点であったのに対し、**都市創造工学科**が 2.50 点と低い平均点であった。一方、学生所属専攻別では、3.12~4.84 点の平均点であり**現代経済システム専攻**が 4.84 点、**アジア地域経済専攻**が 4.75 点と高い平均点であったのに対し、**交通機械工学専攻**が 3.12 点と低い平均点であった。

Q3「先生は開始時間と終了時間を守っていますか？」

専任教員所属学科別では、4.50~5.00 点の平均点であり、**国際学科、経済学科、国際経済学科、環境理工学科、都市創造工学科**が 5.00 点と高い平均点であったのに対し、**交通機械工学科**が 4.50 点と低い平均点であった。一方、学生所属専攻別では、4.00~5.00 点の平均点であり、**人間環境学専攻、現代経済システム専攻、アジア地域経済専攻**が 5.00 点と高い平均点であったのに対し、**情報システム工学専攻**が 4.00 点と低い平均点であった。

Q4「先生は、学生とコミュニケーションを取りながら授業をしていますか？」

専任教員所属学科別では、4.72～5.00 点の平均点であり、国際学科、経済学科、国際経済学科、環境理工学科、都市創造工学科、電子情報通信工学科が 5.00 点と高い平均点であり他の学科においても 5.00 点に近い平均点であった。学生所属専攻別においても、4.79～5.00 点の平均点であり、人間環境学専攻、現代経済システム専攻、アジア地域経済専攻、都市創造工学専攻、電子情報通信工学専攻、情報システム工学専攻が 5.00 点と高い平均点であり、他の専攻においても高い平均点であった。

Q5「先生は、学生の質問、相談に応じる姿勢や配慮がありますか？」

専任教員所属学科別では、4.72～5.00 点の平均点であり、経営学科、経済学科、国際経済学科、環境理工学科、都市創造工学科、電子情報通信工学科が 5.00 点と高い平均点であり他の学科においても 5.00 点に近い平均点であった。一方、学生所属専攻別では、4.76～5.00 点の平均点であり、経営・流通専攻、現代経済システム専攻、アジア地域経済専攻、電子情報通信工学専攻が 5.00 点と高い平均点であり他のいずれの専攻も 5.00 点に近い平均点であった。

Q6「先生の説明は聞き取りやすいですか？」

専任教員所属学科別では、4.53～5.00 点の平均点であり、国際学科、経営学科、経済学科、国際経済学科、環境理工学科、都市創造工学科、電子情報通信工学科が 5.00 点と高い平均点であったのに対し、交通機械工学科が 4.53 点という平均点であった。一方、学生所属専攻別では、4.57～5.00 点の平均点であり、人間環境学専攻、経営・流通専攻、現代経済システム専攻、アジア地域経済専攻、電子情報通信工学専攻、情報システム工学専攻が 5.00 点と高い平均点であり、交通機械工学専攻が 4.57 点であった。

Q7「板書やプロジェクターの表示は見やすいですか？」

専任教員所属学科別では、3.50～5.00 点の平均点であり、国際学科、経営学科、経済学科、国際経済学科、都市創造工学科が 5.00 点と高い平均点であったのに対し、電子情報通信工学科が 3.50 点と低い平均点であった。一方、学生所属専攻別では、4.00～5.00 点の平均点であり、経営・流通学専攻、現代経済システム専攻、アジア地域経済専攻、情報システム工学専攻が 5.00 点と高い平均点であったのに対し、電子情報通信工学専攻が 4.00 点と低い平均点であった。

Q8「授業の速さは適切ですか？」

この質問項目に対しての回答は、(5)速い、(4)やや速い、(3)適切、(2)やや遅い、(1)遅いとした。専任教員所属学科別では、3.00～4.56 点の平均点であった。学生所属専攻別では、3.00～4.54 点の平均点であった。いずれの専攻もおおむね平均点が 3 点台で、適切と回答している結果となったが、人間環境学専攻の平均点は 4.54 点で、75%の学生が「速い」と回答している結果となった。

Q9「テキストや配付資料は、内容の理解に効果的ですか？」

専任教員所属学科別では、4.39～5.00 点の平均点であり、国際学科、経営学科、経済学科、環境理工学科が 5.00 点と高い平均点であったのに対し、交通機械工学科が 4.39 点という平均点であった。一方、学生所属専攻別では、4.00～5.00 点の平均点であり、人間環境学専攻、アジア地域経済専攻、都市創造工学専攻、電子情報通信工学専攻が 5.00 点と高い平均点であったのに対し、情報システム工学専攻が 4.00 点という平均点であった。

Q10「授業の内容はシラバス通りに進められていますか？」

専任教員所属学科別では、3.50～5.00 点の平均点であり、国際学科、経営学科、経済学科、環境理工学科が 5.00 点と高い平均点であったのに対し、電子情報通信工学科が 3.50 点と低い平均点であった。一方、学生所属専攻別では、3.50～5.00 点の平均点であり、人間環境学専攻、アジア地域経済専攻、情報システム工学専攻が 5.00 点と高い平均点であったのに対し、電子情報通信工学専攻が 3.50 点と低い平均

点であった。

Q11「この授業によってこれまでの学びで得た知識や理解がさらに深まっていますか？」

専任教員所属学科別では、4.00～5.00 点の平均点であり、国際学科、経営学科、経済学科、環境理工学科が 5.00 点と高い平均点であったのに対し、電子情報通信工学科が 4.00 点という平均点であった。一方、学生所属専攻別では、4.49～5.00 点の平均点であり、人間環境学専攻、現代経済システム専攻、アジア地域経済専攻、情報システム工学専攻が 5.00 点と高い平均点であったのに対し、交通機械工学専攻が 4.49 点という平均点であった。

Q12「この授業にとってこの教室の設備や器具などは十分ですか？」

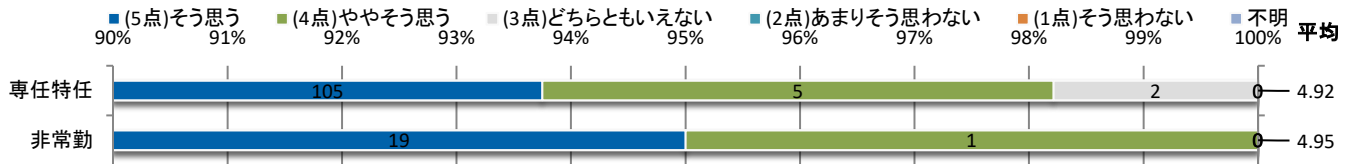
専任教員所属学科別では、2.91～5.00 点の平均点であり、経済学科、環境理工学科が 5.00 点と高い平均点であったのに対し、機械工学科が 2.91 点と低い平均点であった。一方、学生所属専攻別では、2.50～5.00 点の平均点であり、アジア地域経済専攻、情報システム工学専攻が 5.00 点と高い平均点であったのに対し、機械工学専攻が 2.50 点と低い平均点であった。

Q13「この授業は総合的に見て満足できる授業ですか？」

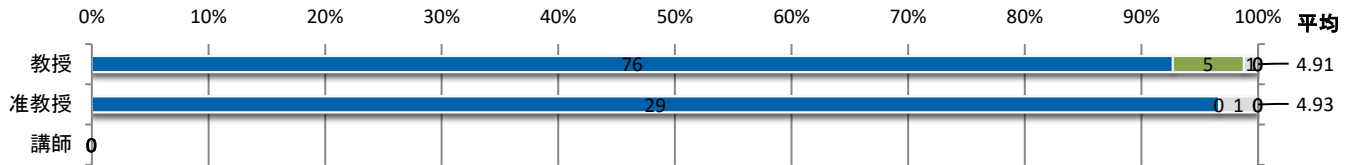
専任教員所属学科別では、4.48～5.00 点の平均点であり、国際学科、経営学科、経済学科、環境理工学科が 5.00 点と高い平均点であったのに対し、交通機械工学科が 4.48 点という平均点であった。一方、学生所属専攻別では、4.50～5.00 点の平均点であり、人間環境学専攻、経営・流通学専攻、アジア地域経済専攻、情報システム工学専攻が 5.00 点と高い平均点であったのに対し、電子情報通信工学専攻が 4.50 点であった。

1. この授業によく出席していますか？

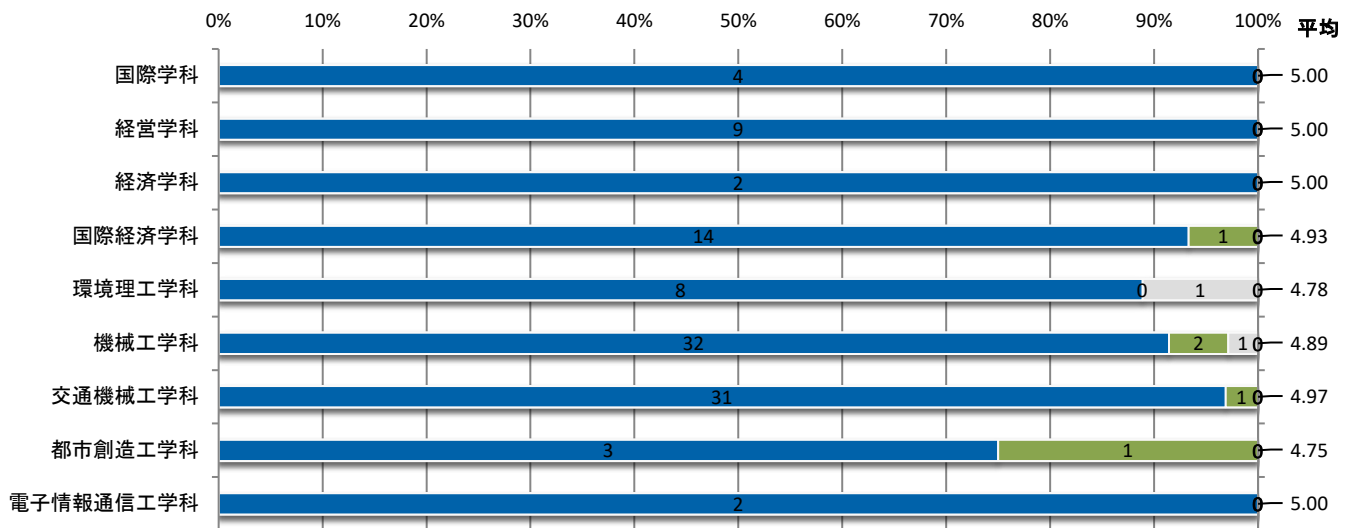
■教員雇用形態別



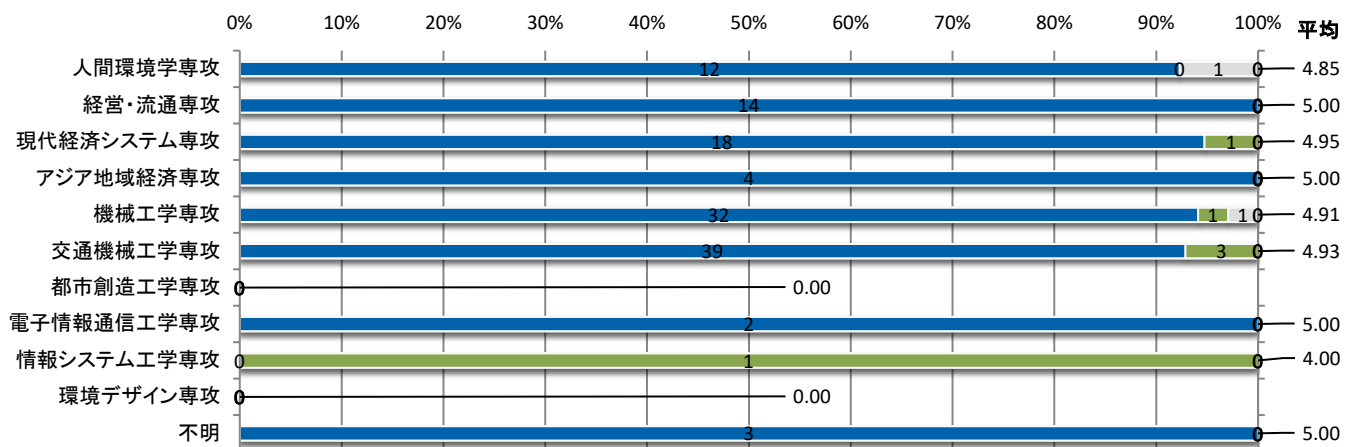
■専任教員職責別



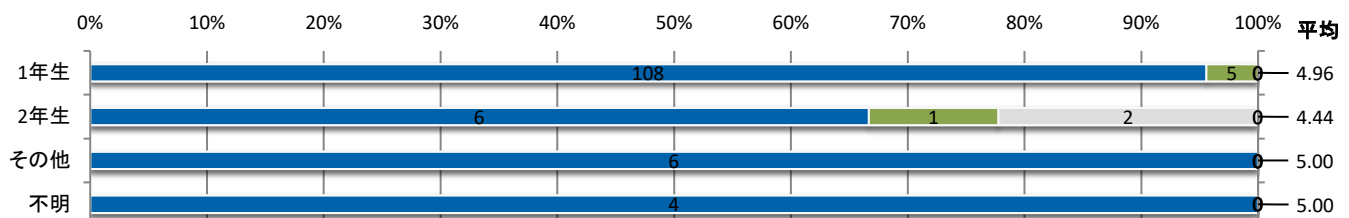
■専任教員所属学科別



■学生所属専攻別

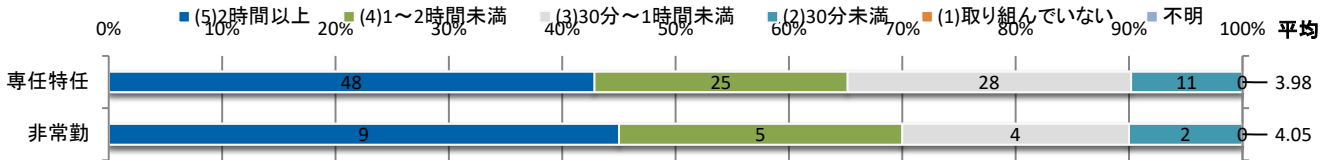


■学年別

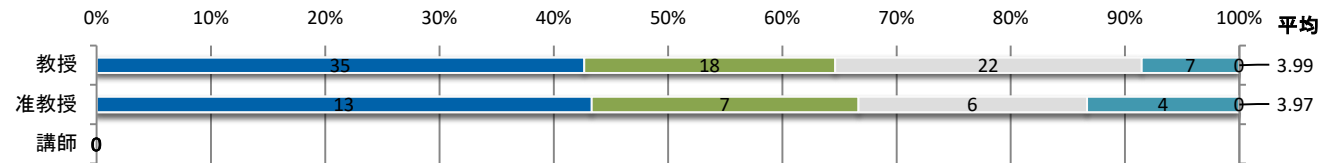


2. この授業の予習復習や関連する内容についての自己学習を行っていますか？

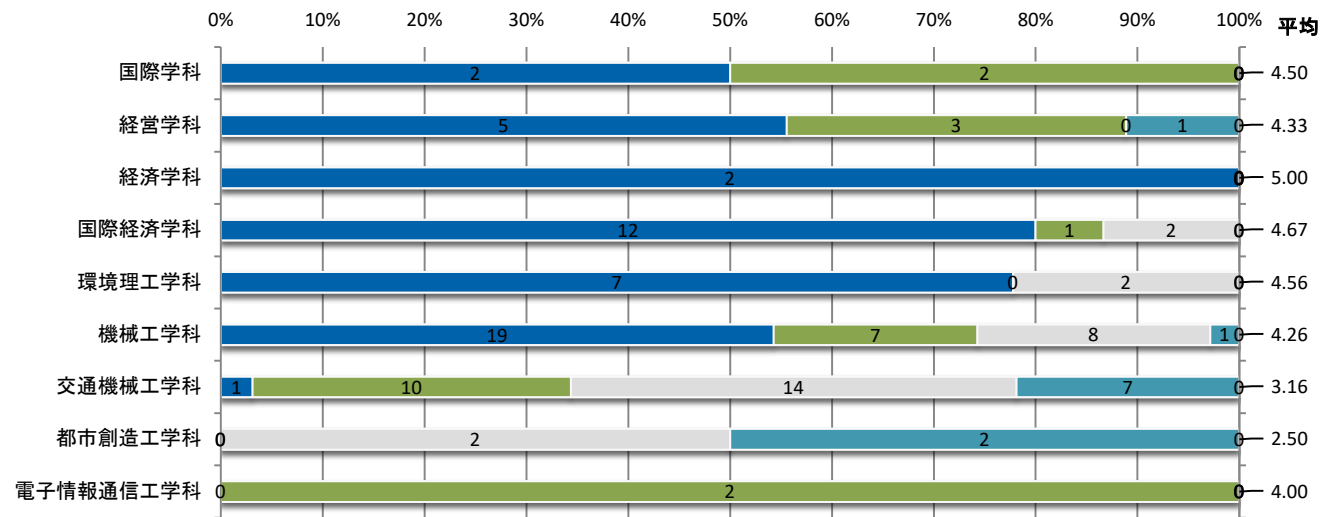
■教員雇用形態別



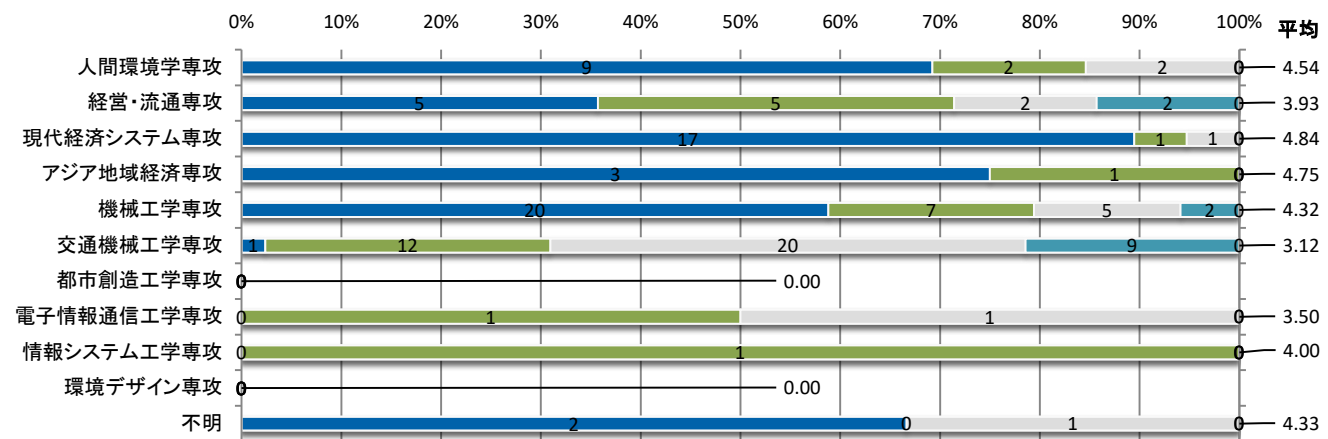
■専任教員職責別



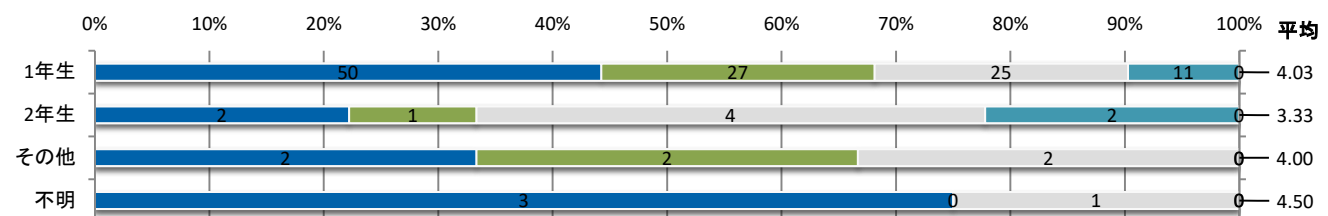
■専任教員所属学科別



■学生所属専攻別

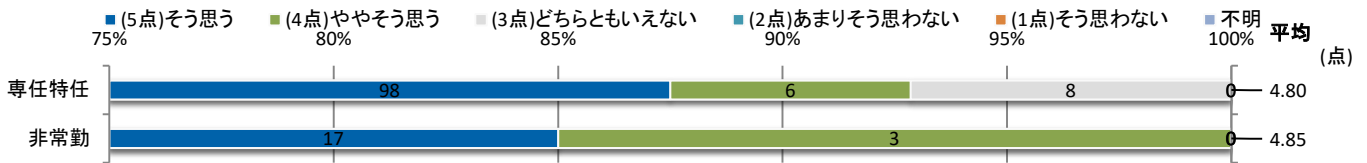


■学年別

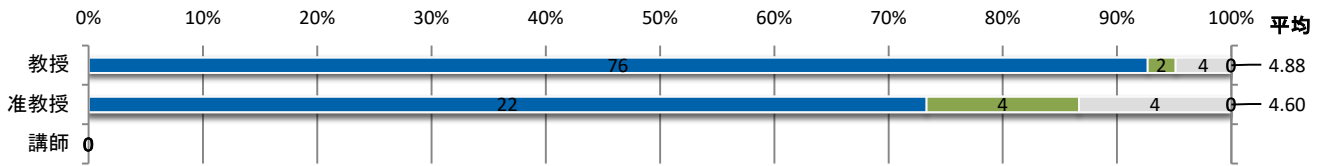


3. 先生は、開始時間と終了時間を守っていますか？

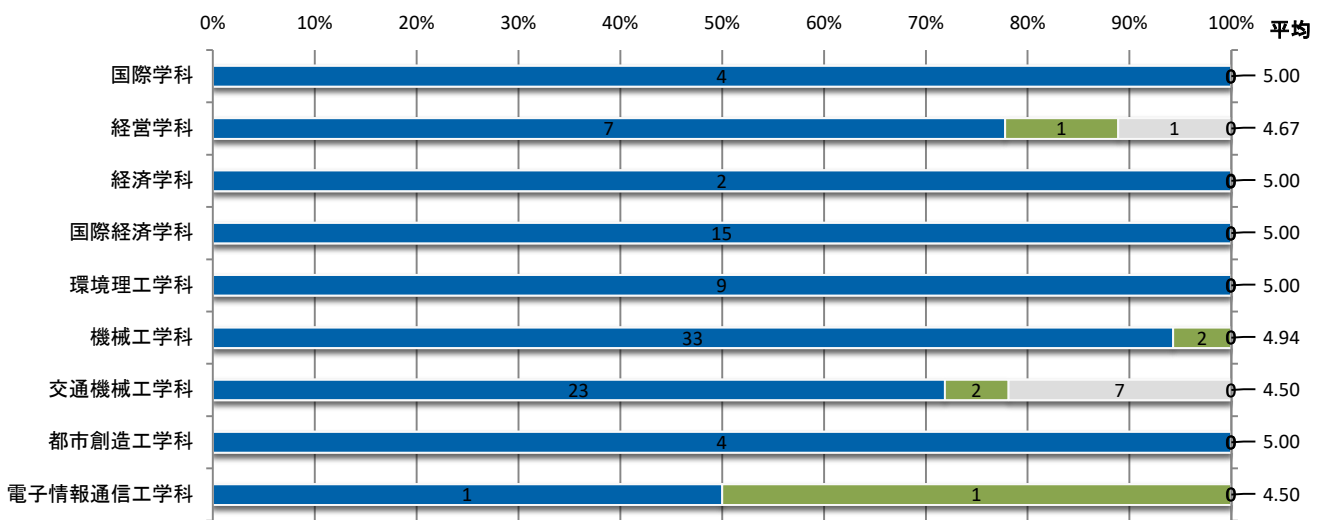
■教員雇用形態別



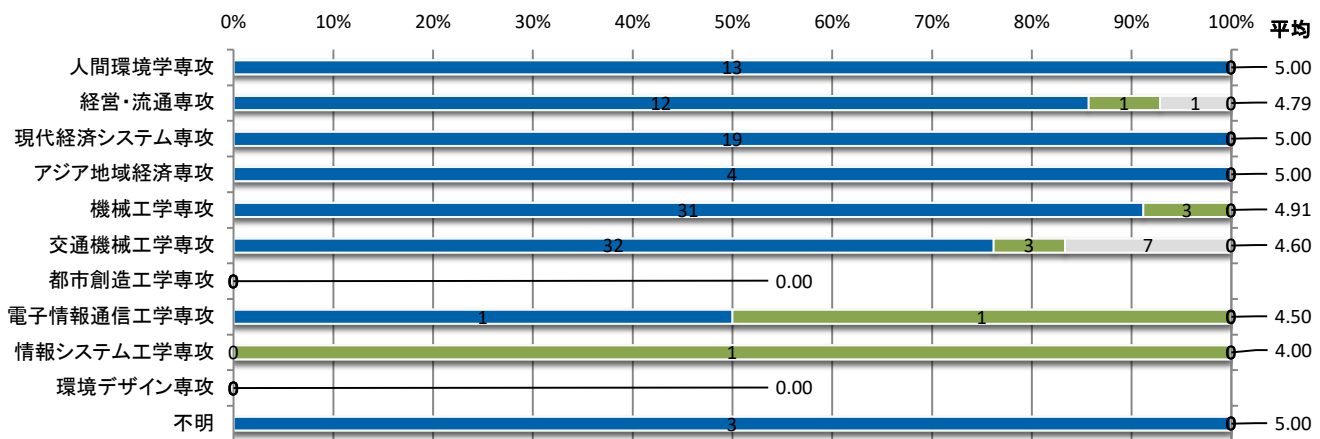
■専任教員職責別



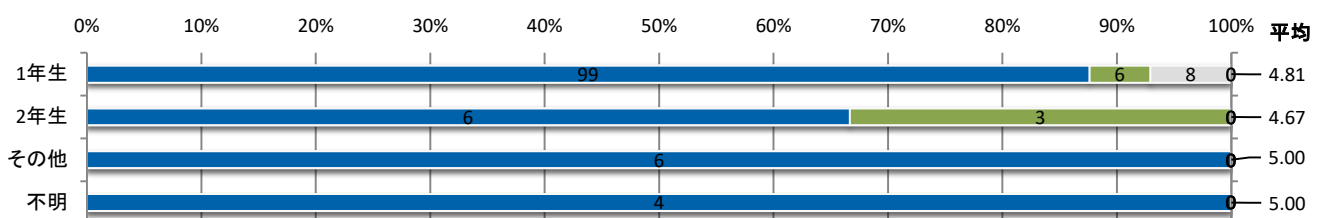
■専任教員所属学科別



■学生所属専攻別

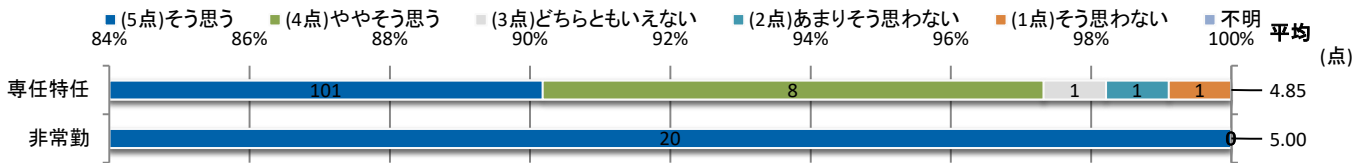


■学年別

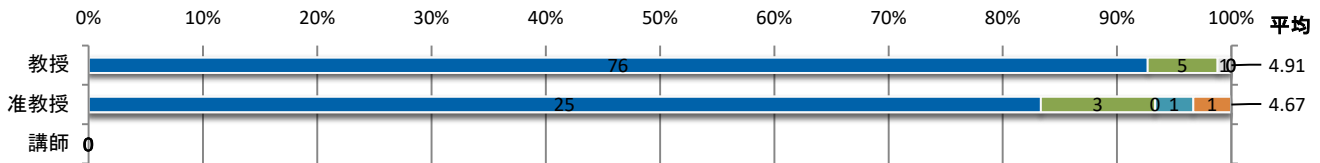


4. 先生は、学生とコミュニケーションを取りながら授業をしていますか？

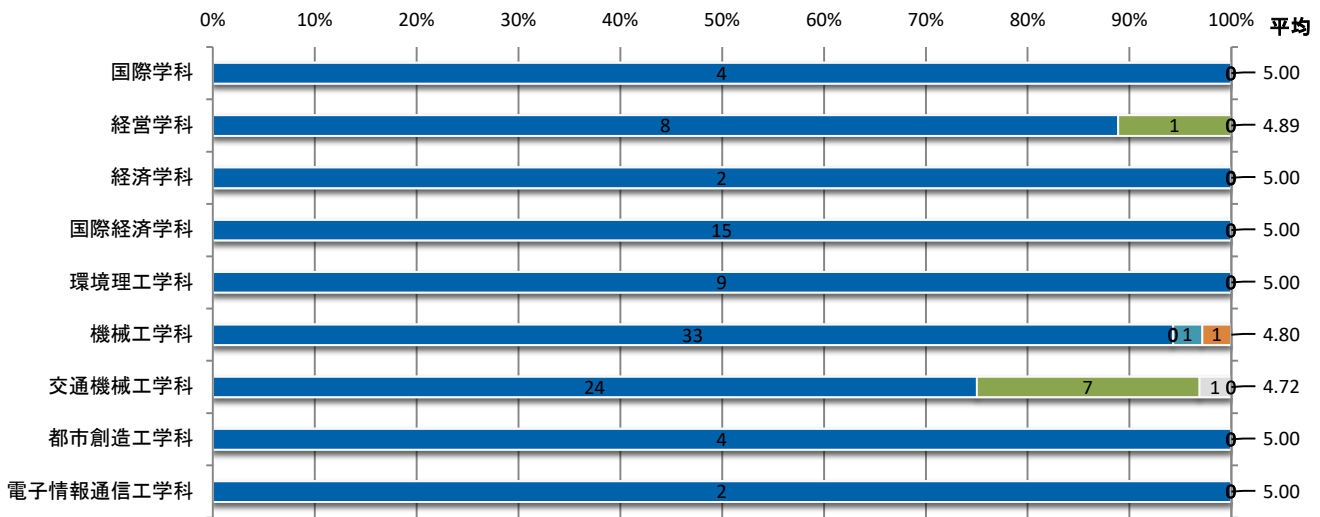
■教員雇用形態別



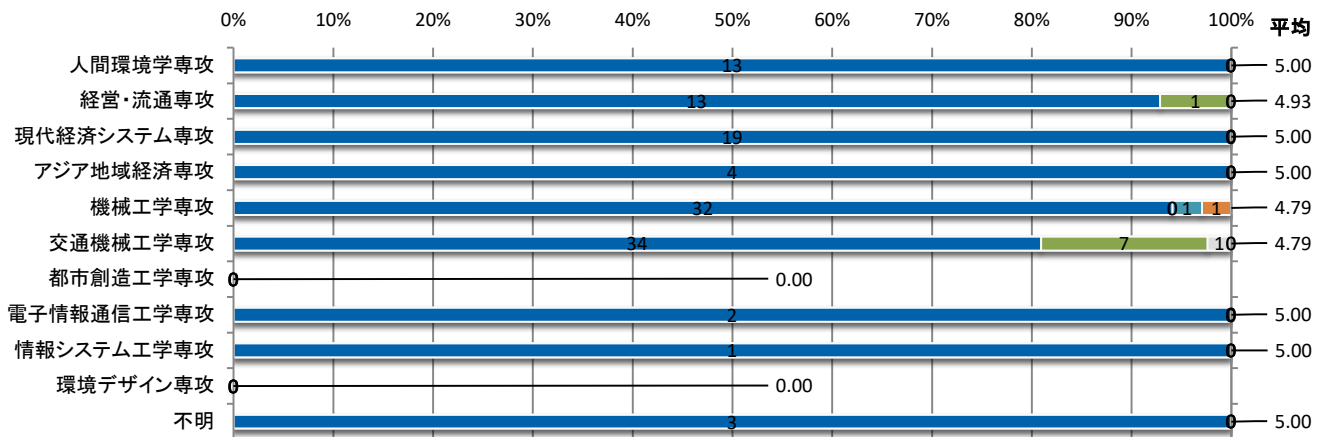
■専任教員職責別



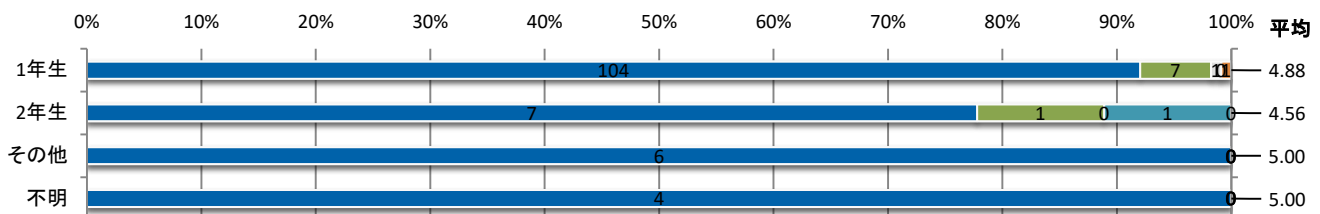
■専任教員所属学科別



■学生所属専攻別

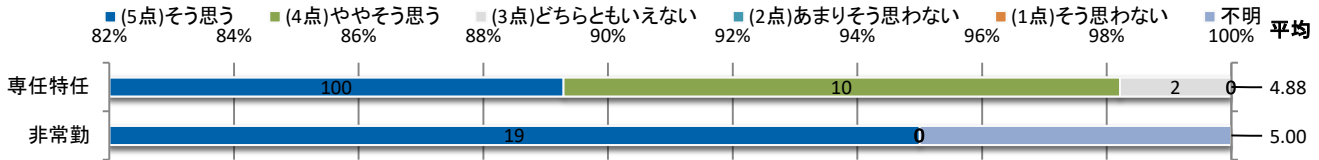


■学年別

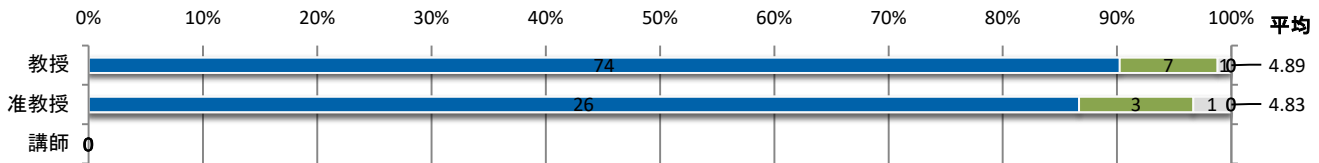


5. 先生は、学生の質問、相談に応じる姿勢や配慮がありますか？

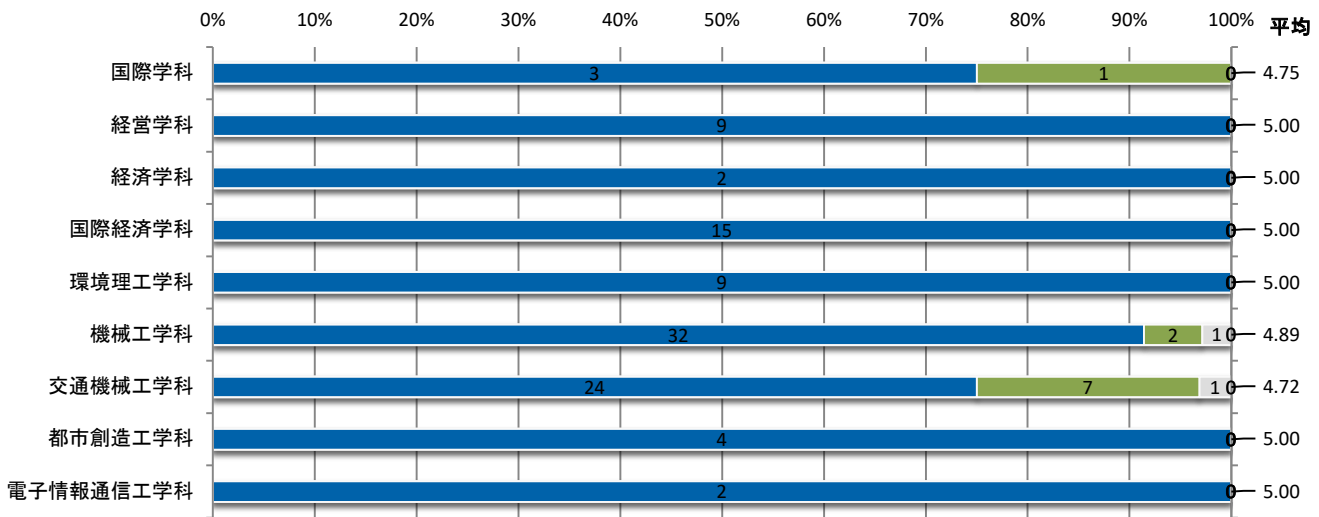
■教員雇用形態別



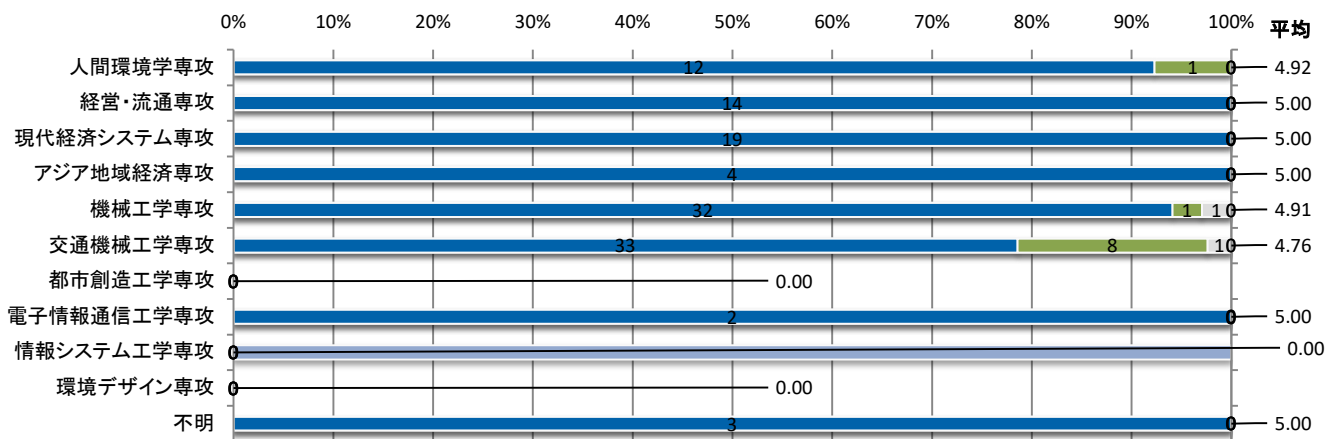
■専任教員職責別



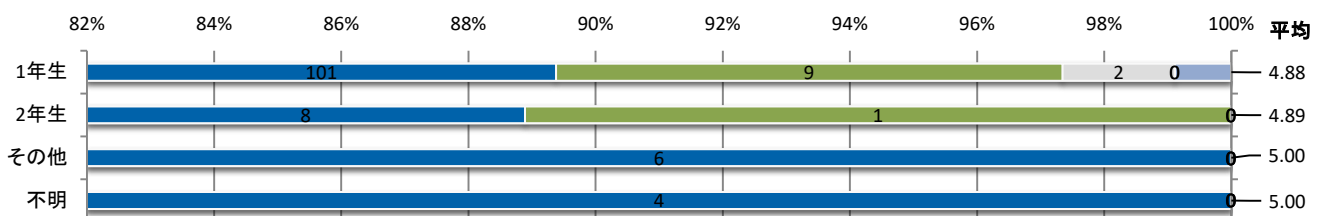
■専任教員所属学科別



■学生所属専攻別

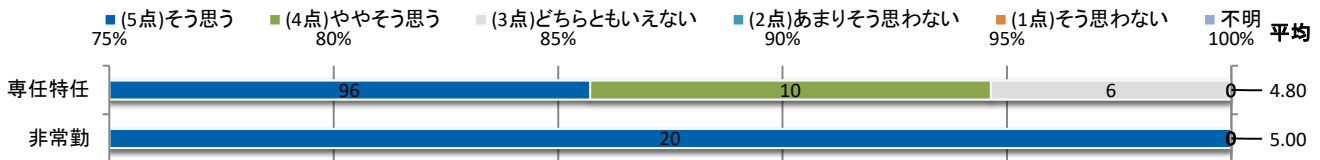


■学年別

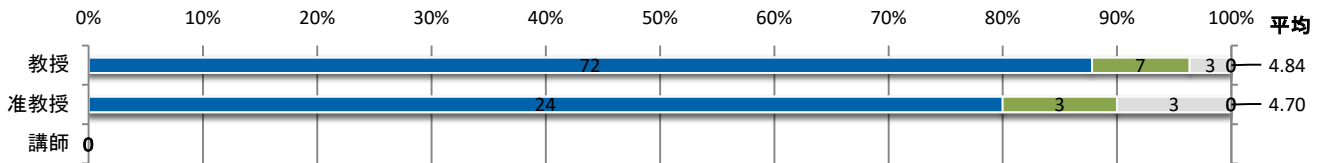


6. 先生の説明は聞き取りやすいですか？

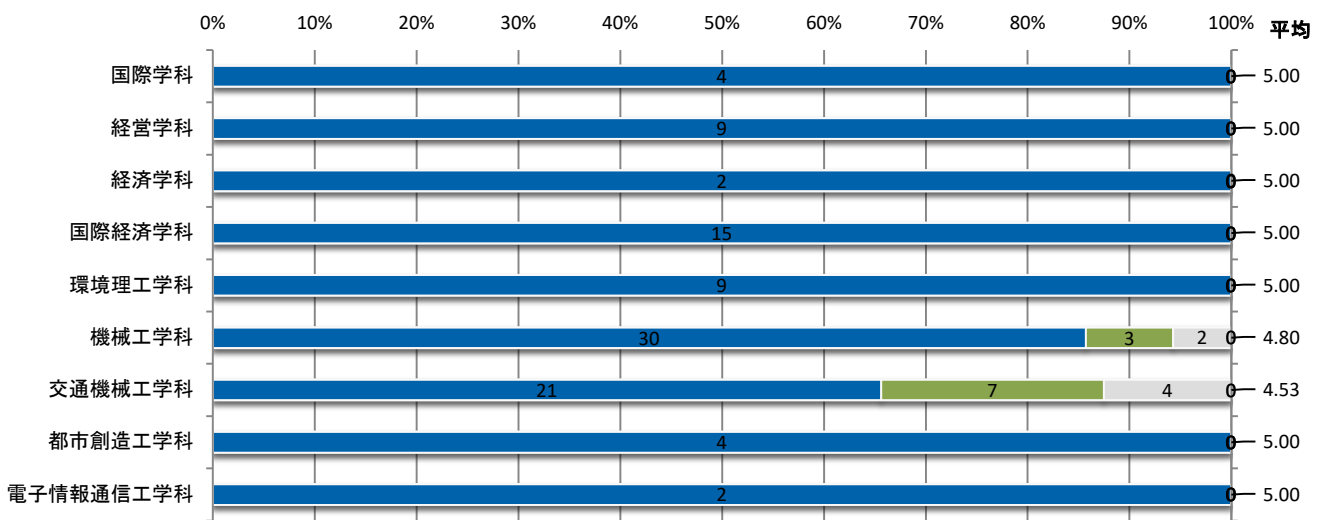
■教員雇用形態別



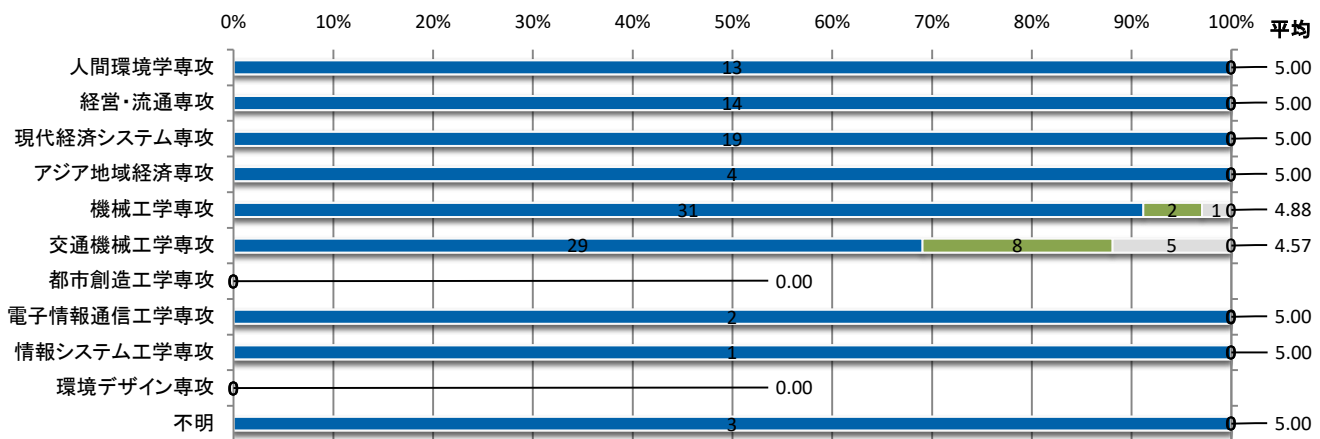
■専任教員職責別



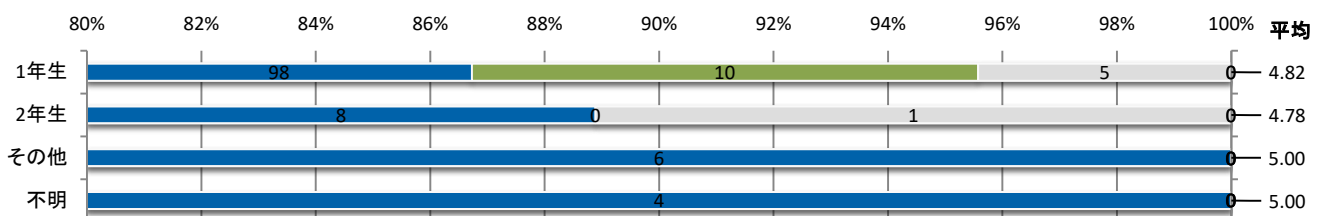
■専任教員所属学科別



■学生所属専攻別

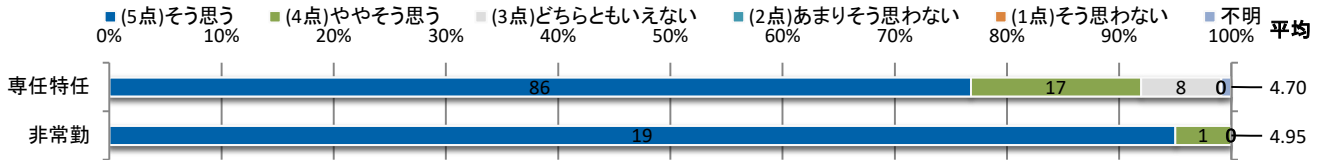


■学年別

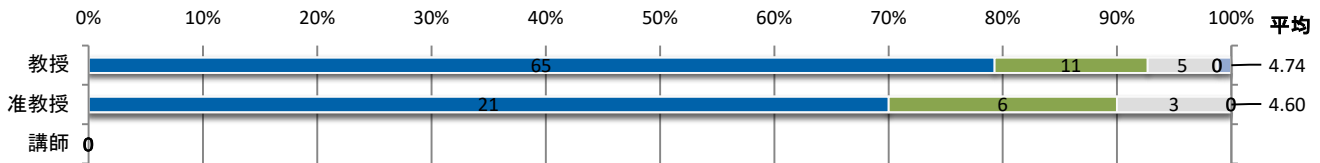


7. 板書やプロジェクターの表示は見やすいですか？

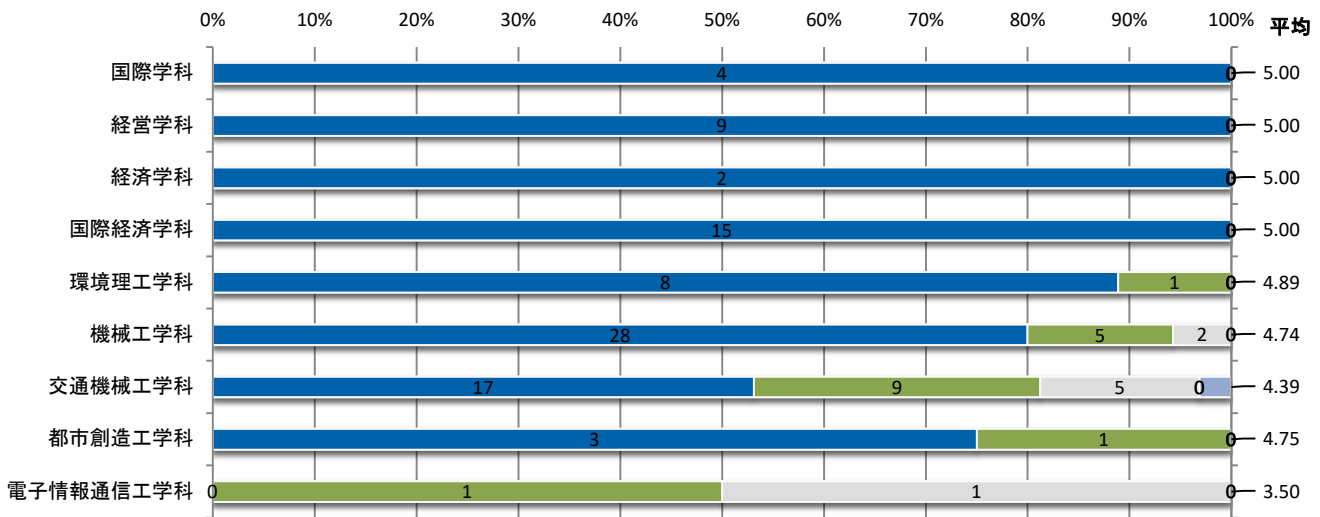
■教員雇用形態別



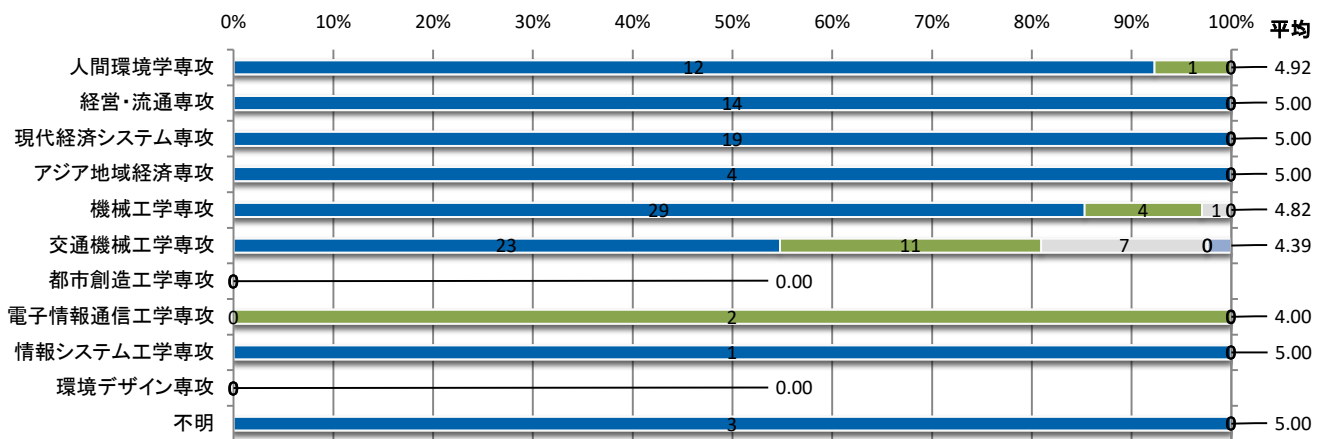
■専任教員職責別



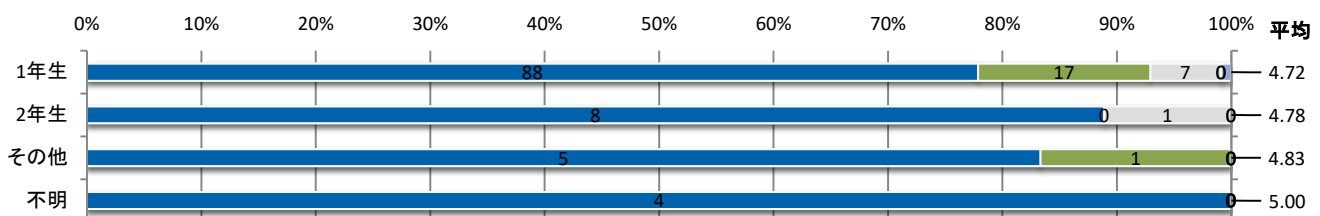
■専任教員所属学科別



■学生所属専攻別

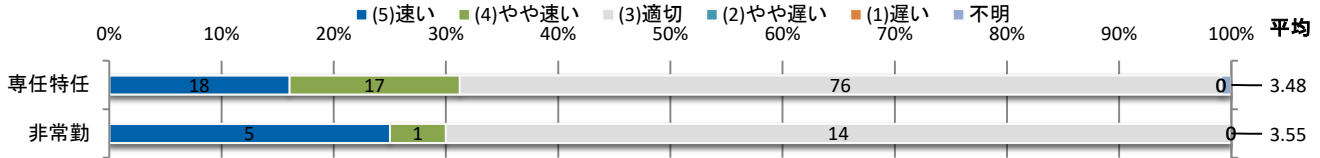


■学年別

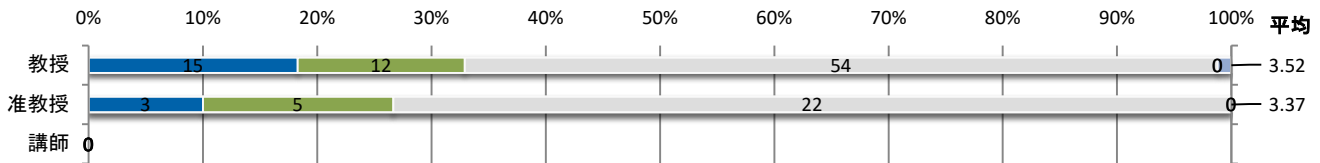


8. この授業の速さは適切ですか？

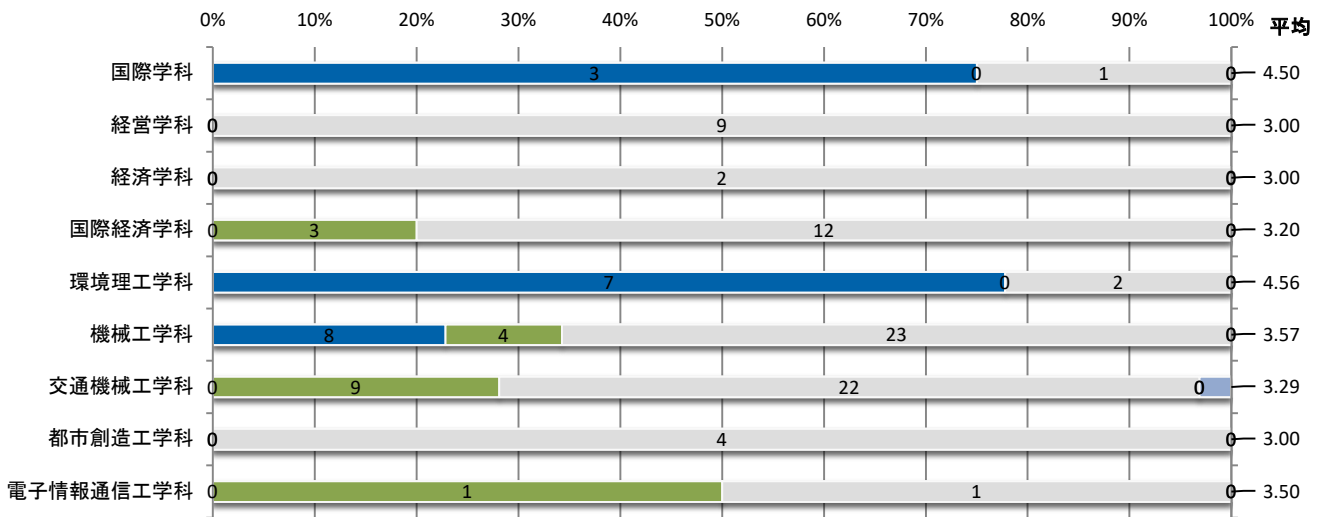
■教員雇用形態別



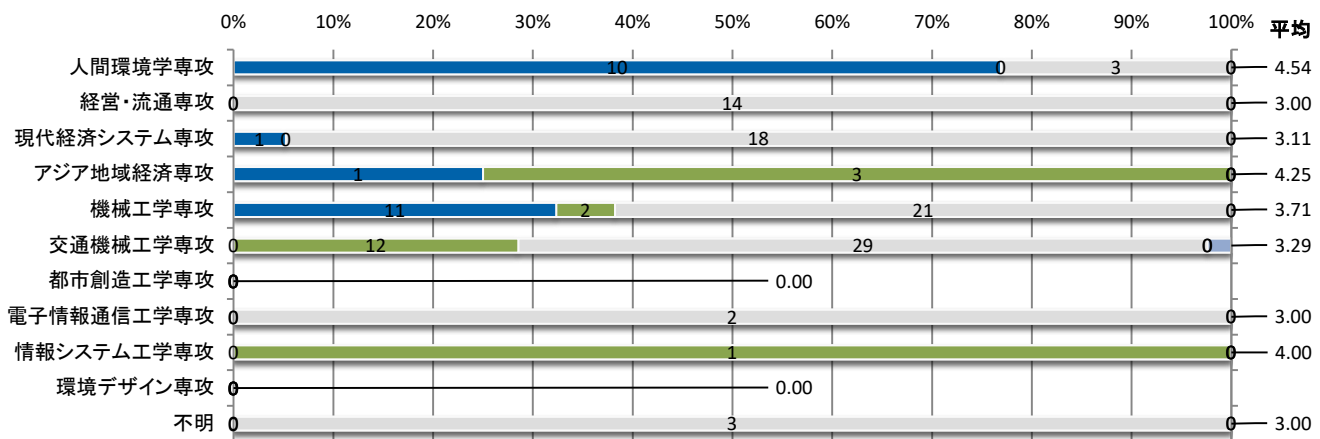
■専任教員職責別



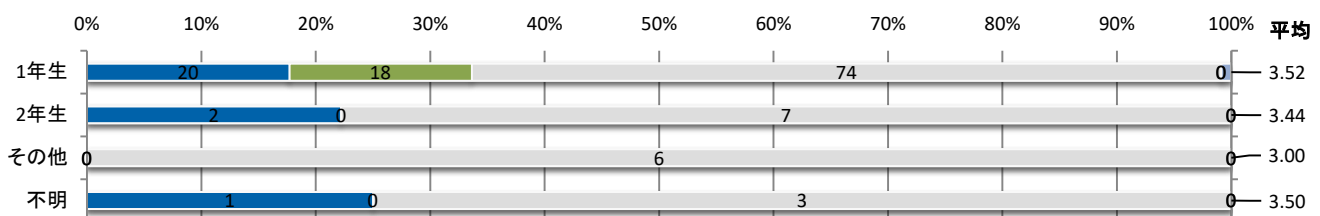
■専任教員所属学科別



■学生所属専攻別

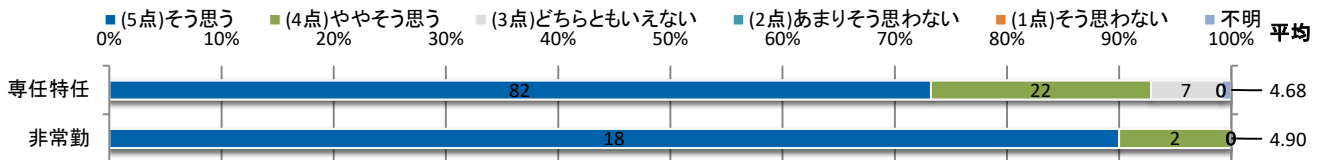


■学年別

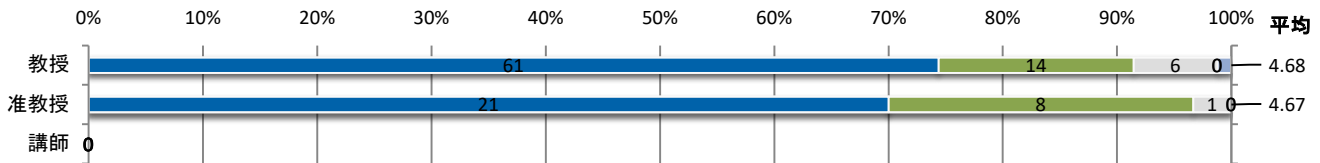


9. テキストや配布資料は、内容の理解に効果的ですか？

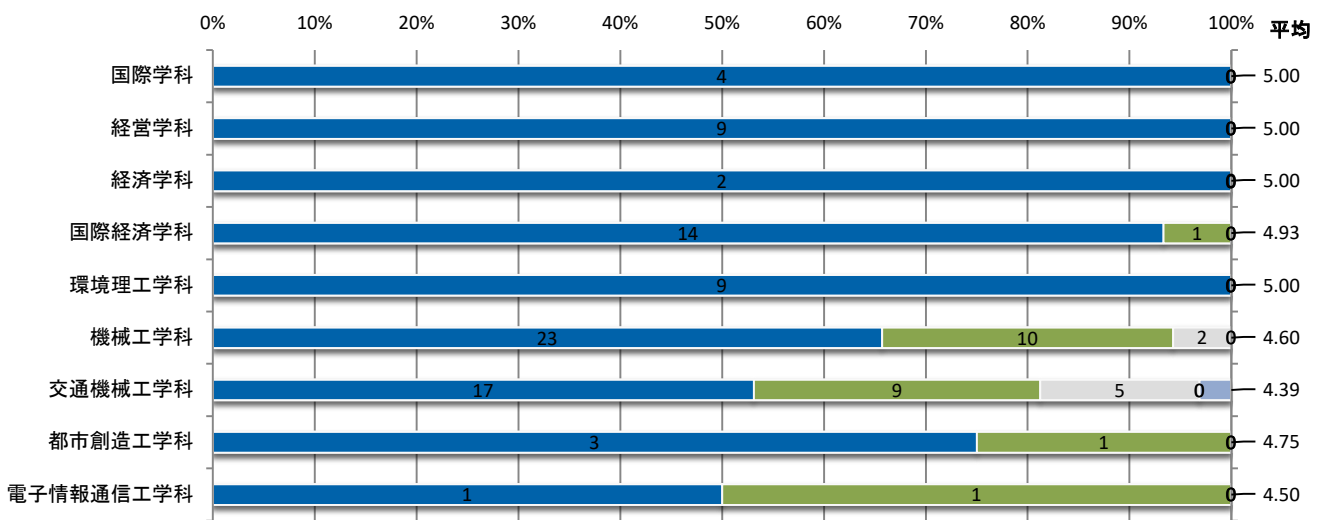
■教員雇用形態別



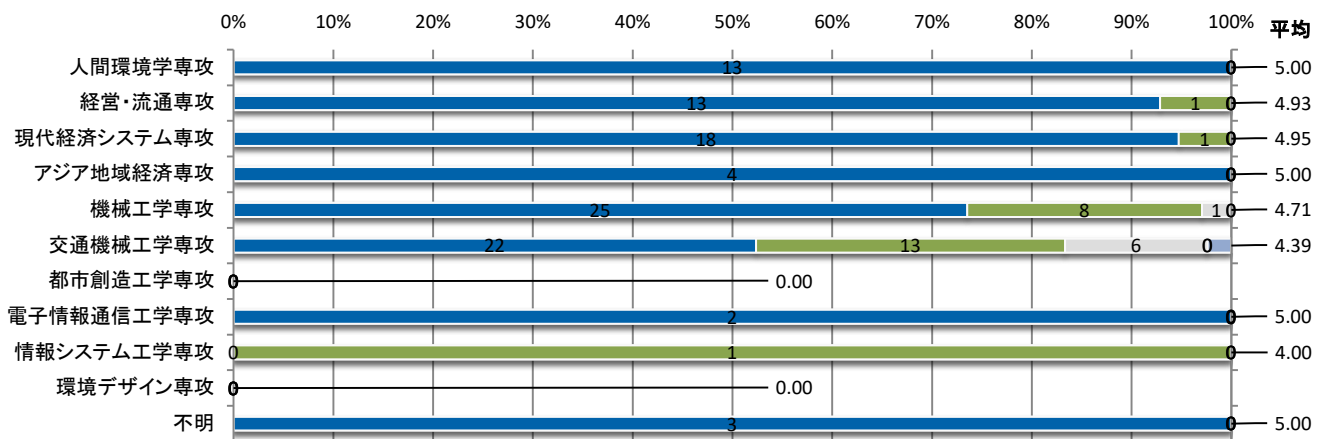
■専任教員職責別



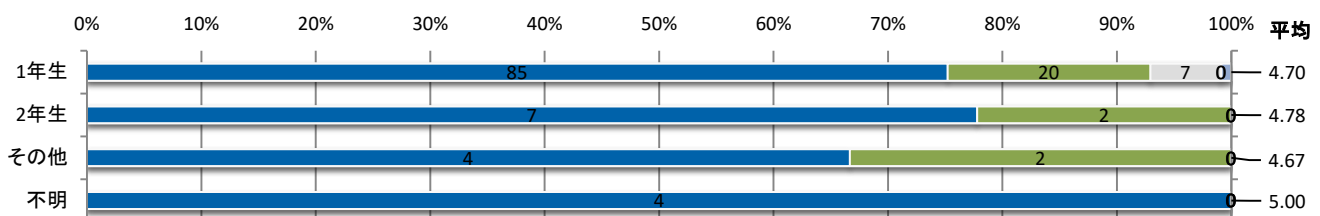
■専任教員所属学科別



■学生所属専攻別

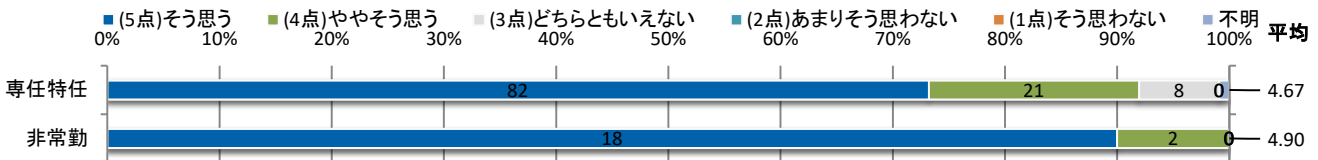


■学年別

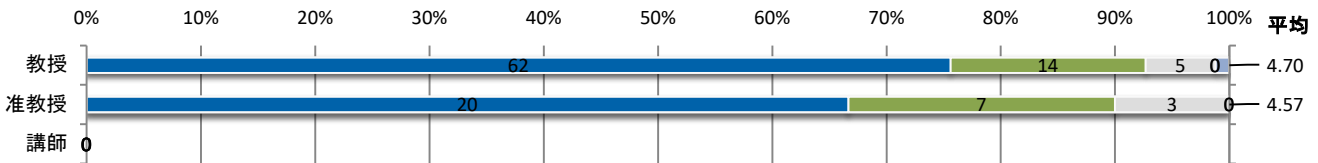


10. 授業はシラバスに沿って進められていますか？

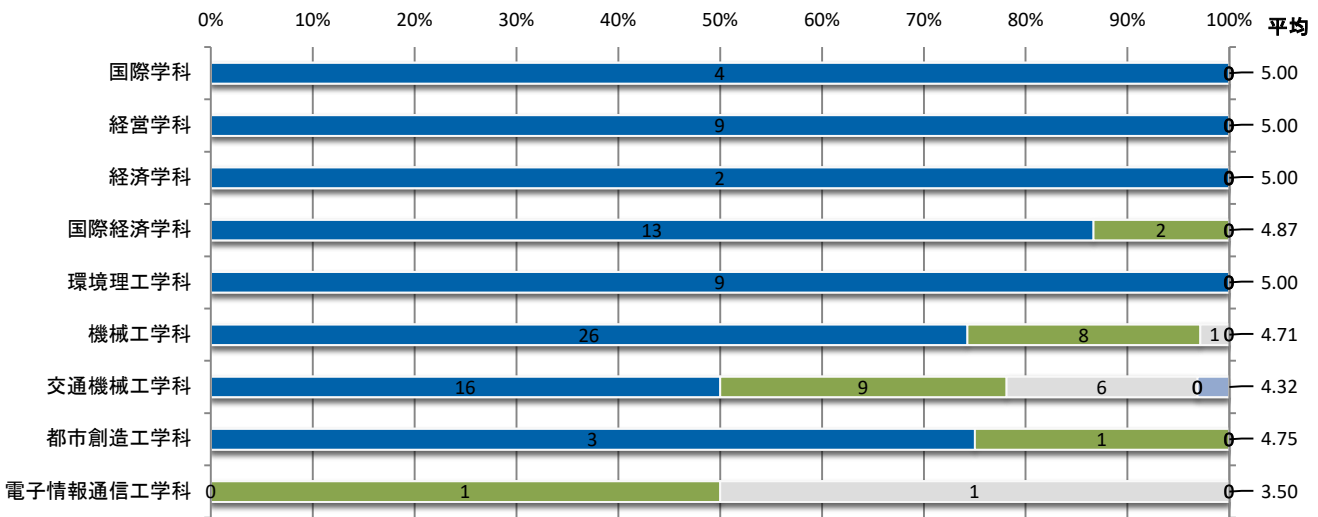
■ 教員雇用形態別



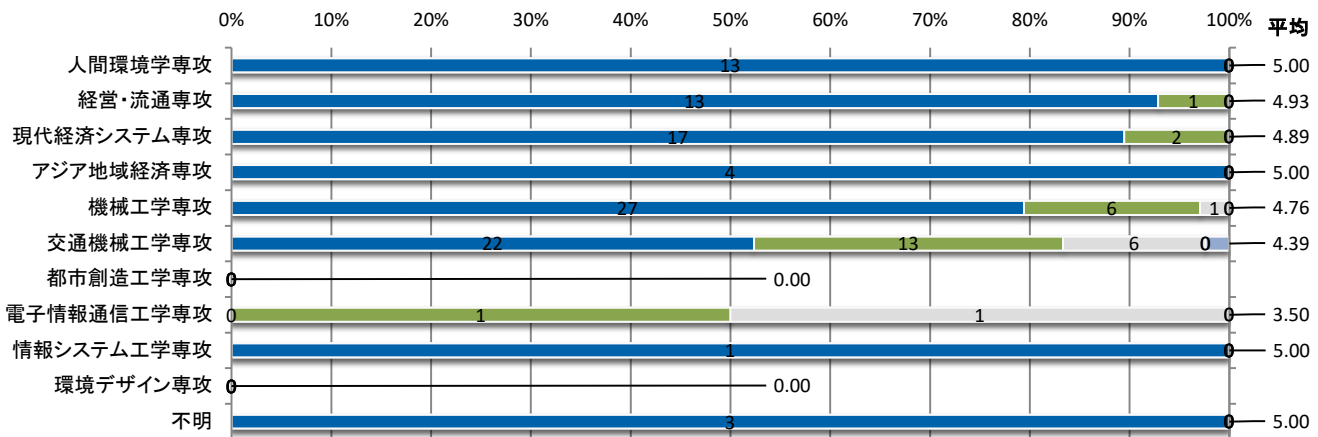
■ 専任教員職責別



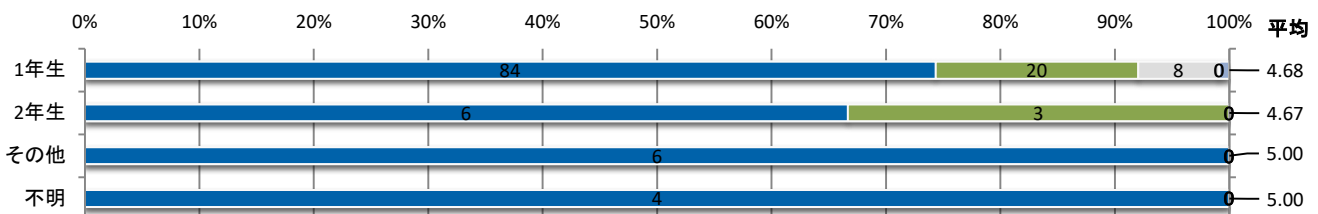
■ 専任教員所属学科別



■ 学生所属専攻別

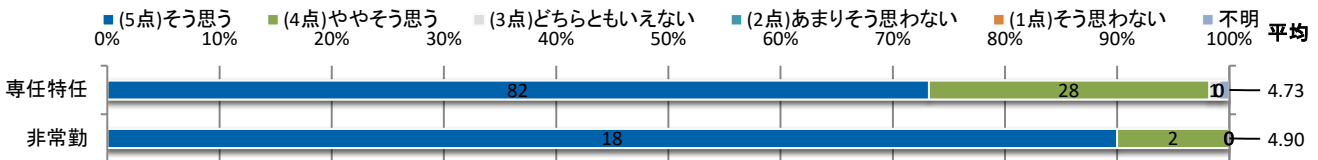


■ 学年別

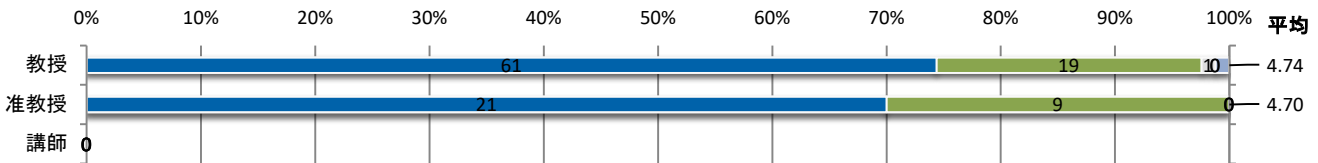


11. この授業によってこれまでの学びで得た知識や理解がさらに深まっていますか？

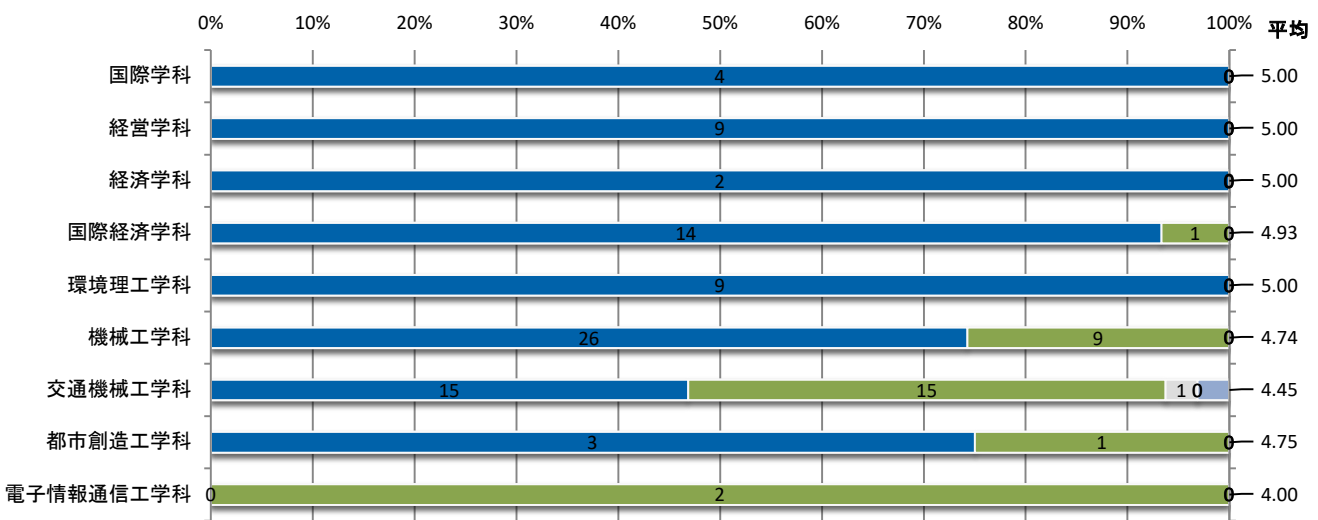
■教員雇用形態別



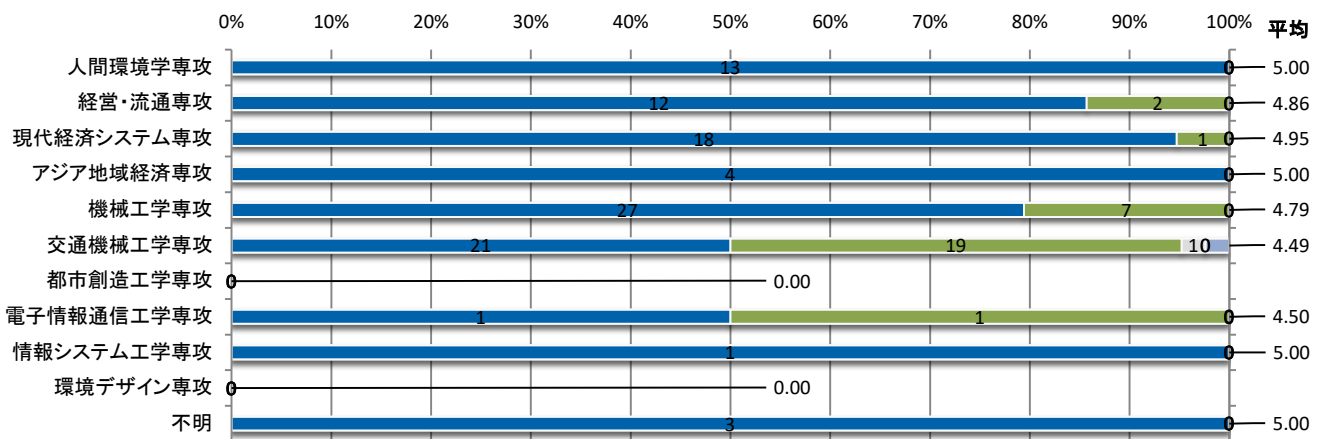
■専任教員職責別



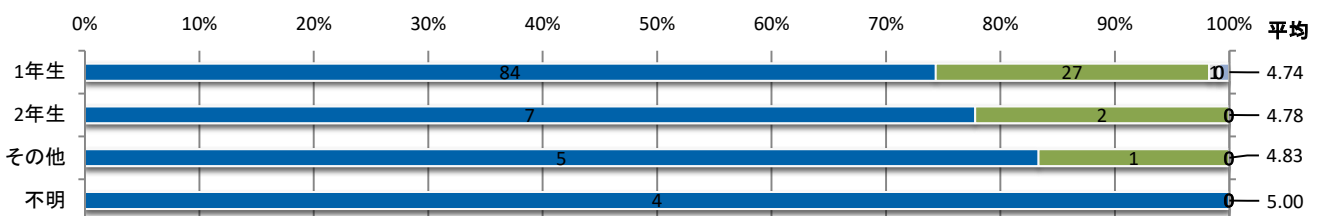
■専任教員所属学科別



■学生所属専攻別

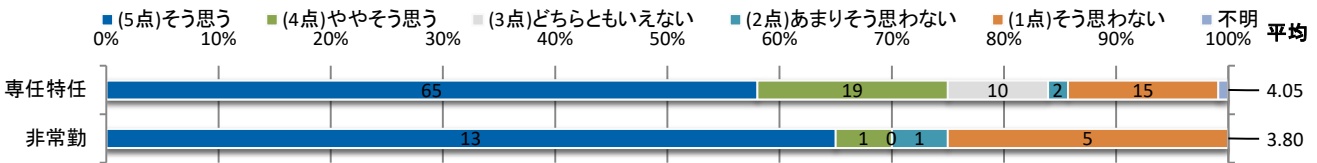


■学年別

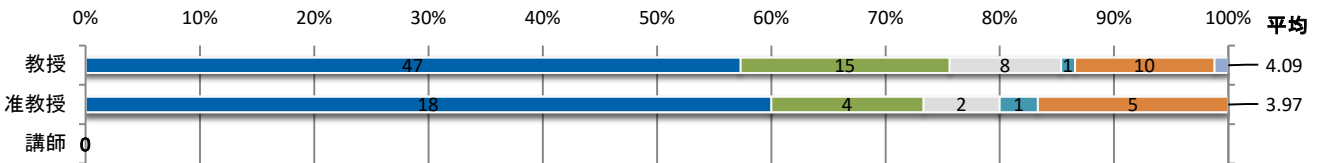


12. この授業にとってこの教室の設備や器具などは十分ですか？

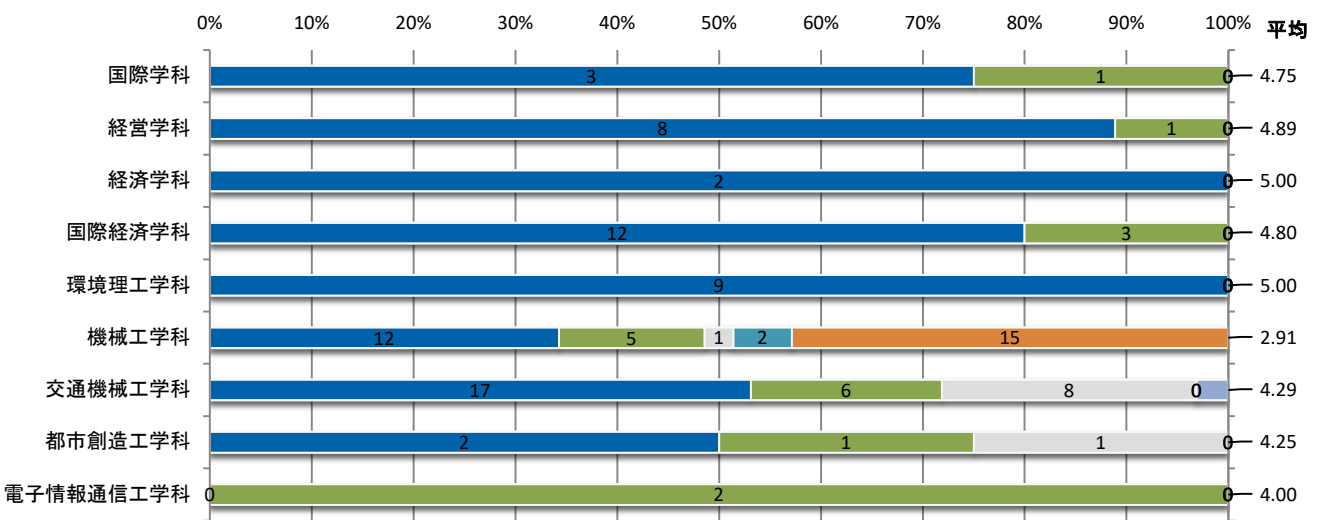
■教員雇用形態別



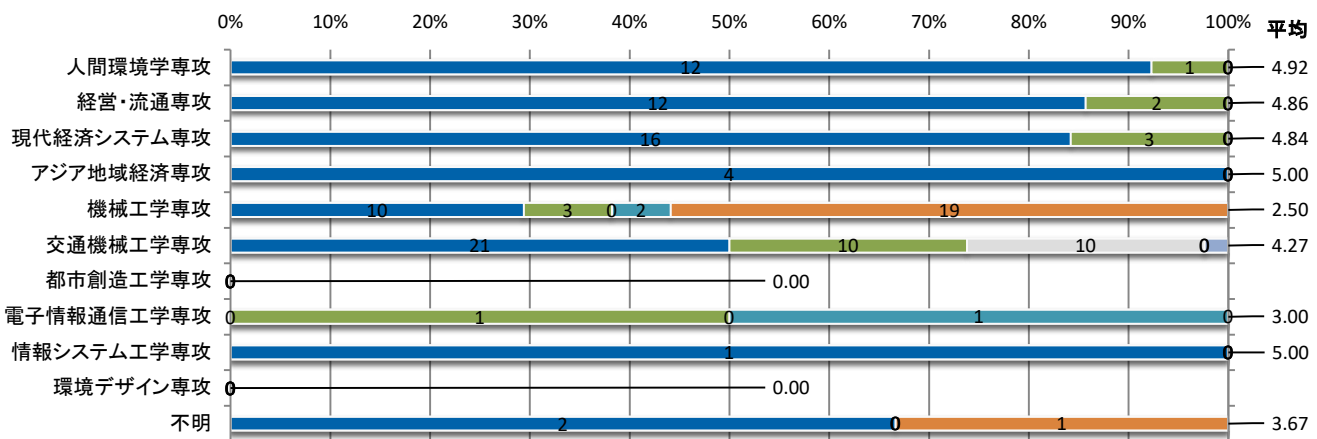
■専任教員職責別



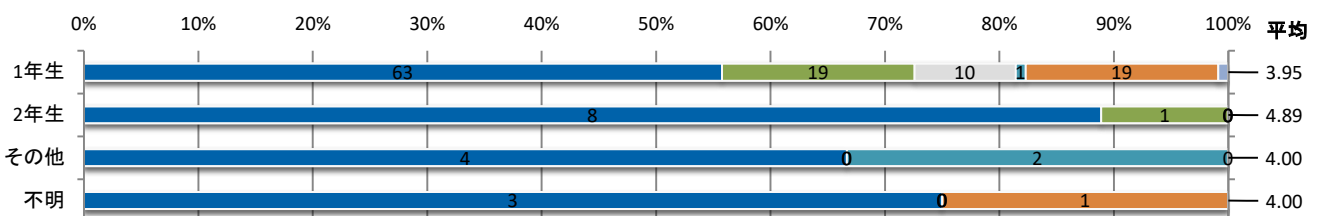
■専任教員所属学科別



■学生所属専攻別

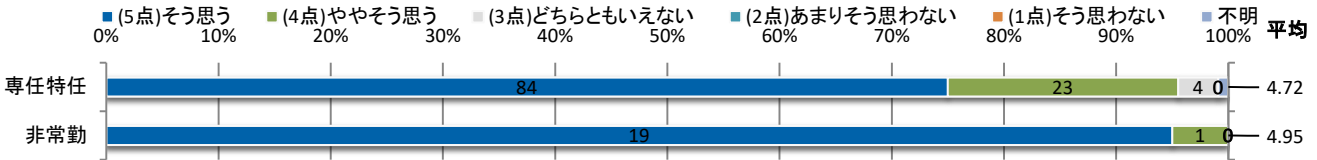


■学年別

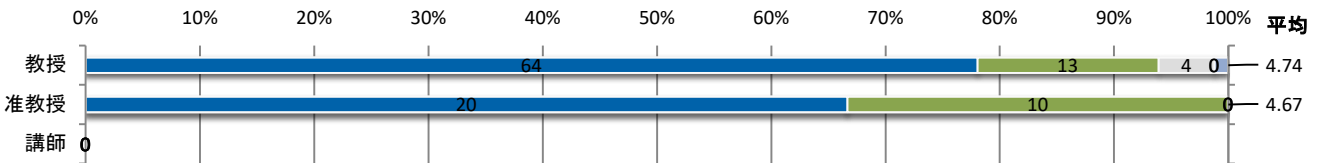


13. この授業は総合的に見て満足できる授業ですか？

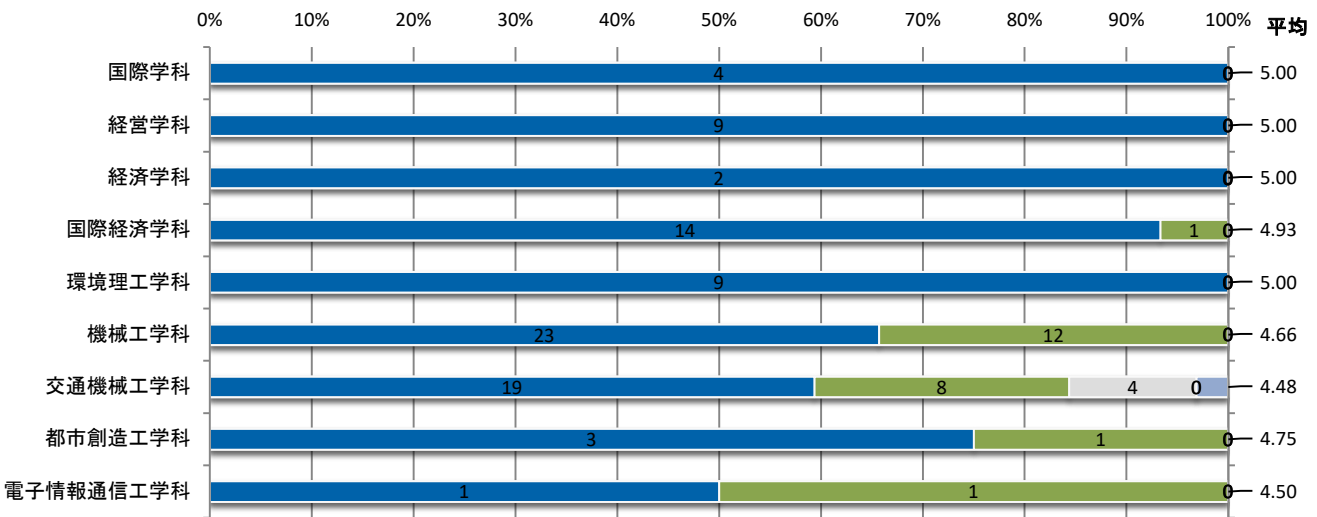
■教員雇用形態別



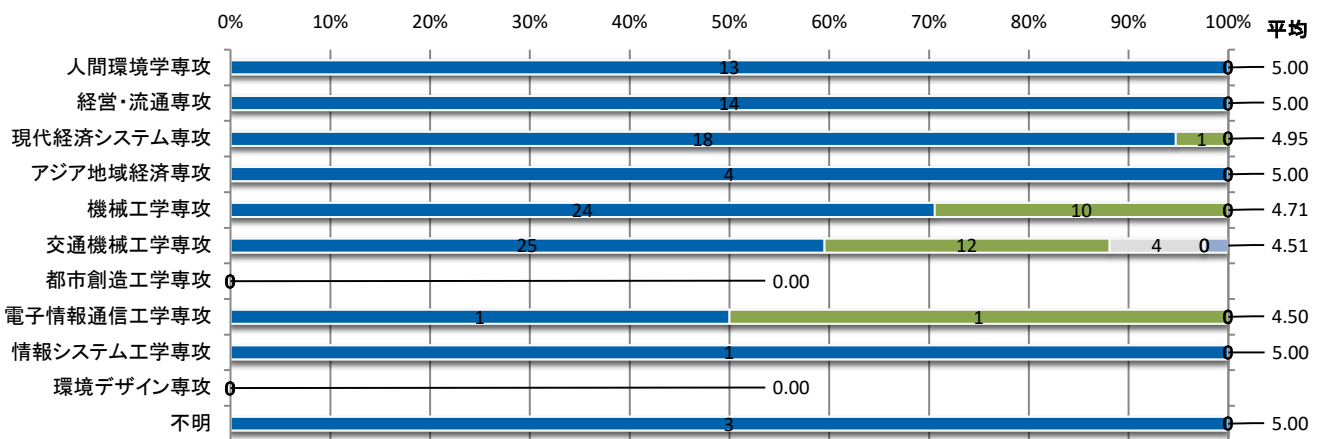
■専任教員職責別



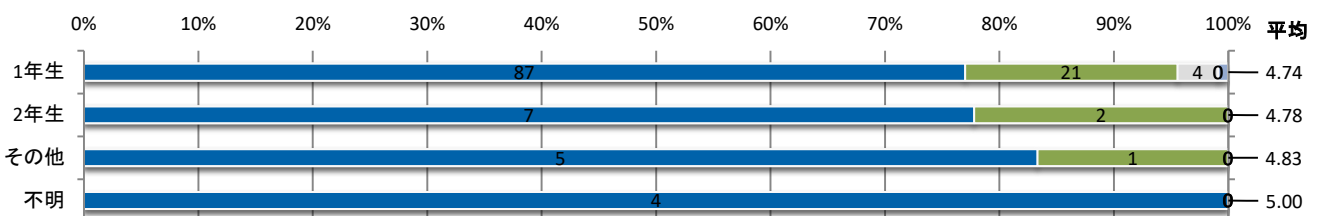
■専任教員所属学科別



■学生所属専攻別



■学年別



授業改善アンケート集計結果（経年比較）〔大学院〕

1. 設問別

No	設 問 文	2018 年 前期 平均値	2019 年 前期 平均値
(1)	この授業によく出席していますか？	4.75	4.92
(2)	この授業に毎週平均どれくらい、予習復習や関連する内容についての自己学習を行っていますか？ 5:2 時間以上 4:1~2 時間未満 3:30 分~1 時間未満 2:30 分未満 1:取り組んでいない	3.44	3.99
(3)	先生は、開始時刻と終了時刻を守っていますか？	4.73	4.81
(4)	先生は、学生とコミュニケーションを取りながら授業をしていますか？	4.83	4.87
(5)	先生は、学生の質問、相談に応じる姿勢や配慮がありますか？	4.80	4.89
(6)	先生の説明は聞き取りやすいですか？	4.75	4.83
(7)	板書やプロジェクターの表示は見やすいですか？	4.69	4.74
(8)	この授業の速さは適切ですか？	3.33	3.49
(9)	テキストや配布資料は、内容の理解に効果的ですか？	4.59	4.71
(10)	授業はシラバス通りに沿って進められていますか？	4.63	4.70
(11)	この授業によってこれまでの学びで得た知識や理解がさらに深まっていますか？	4.64	4.76
(12)	この授業にとってこの教室の設備や器具などは十分ですか？	4.49	4.02
(13)	この授業は総合的に見て満足できる授業ですか？	4.82	4.76

2. 実施科目数、実施率

	2018 年 前期	2019 年 前期
選定科目	52	32
実施科目	51	30
実施率	98.1%	93.8%

3. 回答率

	2018 年 前期	2019 年 前期
実施科目履修者数	205	143
回答者数	169	132
回答率	82.4%	92.3%